

全国運動速報

【発行】 国鉄闘争全国運動事務局

2012年3月28日発行

千葉市中央区要町2-8 DC会館内

nationwidemovement@yahoo.co.jp

「組織拡大で反撃するぞ」

事前通知の強行－組織破壊に怒りの総決起集会 最強の佐倉支部をつくり、組織拡大で反撃へ！



「組織破壊攻撃を粉碎するぞ」「外注化阻止」。総決起集会後、千葉駅に近接するJR千葉支社に対して抗議行動を行う動労千葉。集会に先立ち、動労千葉を支援する会も同所で街宣とビラまきを行った。

動労千葉は3月28日、佐倉運輸区と銚子運輸区の発足に向けた事前通知の強行に対して、「事前通知強行弾劾！ 組織破壊攻撃粉碎！」「ローカル線切り捨て許すな！ 業務の全面外注化阻止！」を掲げた緊急の総決起集会を行った。

各支部から勤務を終えた組合員が続々と駆けつけ、150人が集まった。

千葉運輸区と銚子の両支部長、本部役員が強制配転の対象だ。動労千葉の組織破壊を狙う明確な不当労働行為だ。さらに銚子市内に住む組合員がDL免許を持っているというだけで本

人の希望をまったく無視して異動を強行しようとしている。今回の事前通知は、会社にとってなんの整合性もない、強制配転を行うためだけのものだ。組織破壊を目的にした不当労働行為に怒りがあふれ、JR千葉支社に対し怒りの弾劾行動がたたきつけられた。

集会は大竹副委員長のあいさつで始まり、冒頭、新組合員の加入が紹介された。3月のダイ改で廃止になった成田派出で働いていた労働者だ。新組合員とともに登壇した幕張支部の山田支部長は「運輸士登用差別の当該の組合員のオルグに伝えてく

れた。組織破壊攻撃に対し、最強の支部をつくり、組織拡大で反撃しよう」と訴えた。

田中委員長は事前通知に満腔の怒りを表明し「動労千葉は新たな一歩を踏み出す。昨年11月以来の指名ストに会社は困り果て、2カ月前の異例の事前通知で押し通そうとしている。佐倉運輸区の3月設置はできない状況に追い込んだ。検修職場の外注化4月1日実施も完全に止めた」とこの間の闘いの成果を確認し、「闘争方針を切り替える。当局が一番嫌がる組織拡大を実現し、佐倉に最強の支部をつくる」と提起した。

さらに「4・1は止めたが本当の勝負はこれから」として、この間の闘いが職場の反乱と組織拡大の可能性を生んだこと、偽装請負の追及、集団的な出向拒否の問題が会社を追い詰めたことを総括、平成採を組合に獲得すれば外注化は止められることを強調した。

川崎執行委員が団交の報告を行った。「検討中」と言った団交翌日のだまし討ち事前通知を厳しく弾劾。外注化されれば出向から戻る場所がなくなる問題についても会社の小手先のやり口を厳しく批判した。また米子の労基署が後藤工場の死亡事故について書類送検したことなど

を報告した。

事前通知を受けた当該の組合員がずらりと前に並んだ。銚子の渡辺支部長が決意表明した。「乗務前に通知してきた。こんなこと許せるか。彼らに正義があるのか。反対する組合がないと全部まかり通ってしまう」

各支部からも決意が続いた。「幕張でも役員狙い撃ちで配転された。山田支部長の配転も狙われている。平成採を獲得して外注化を阻止したい」（幕張支部）、「偽装請負を一つひとつの業務で暴いていく」（車両技術分科会）、「平成採の獲得へ1日も早く、1人でも多く、青年部はがんばりたい」（青年部）

「新小岩統廃合と闘い千葉機は最強の支部として闘う」（千葉機関区支部）、「佐倉は大嵐になると確信している」（木更津支部）

基調提起を長田書記長が行った。「会社の一番嫌がることをやる。着実に組織拡大することが最大の力。現場では苦闘しているが、ここで負けるわけにはいかない」として、この間の闘いを集約し、新たな闘いの出発点にすることを提起した。繁沢副委員長のあいさつ、田中委員長の団結ガンバローで集会を終え、直ちに千葉支社への抗議行動に移った。